

中高生が金融教育の動画作り



児童向け、コンテストに応募へ

小学生向けの金融教育に使う動画を制作するイベントが22日、サポート校の青楓館（明石市相生町2）で開かれた。同校や地域の中高生約10人が、オンラインも交えて参加した。

一般社団法人日本金融教育支援機構が企画する「第1回FESコンテスト」。全国の中高生が、使う、増やす、納めるなど、お金にまつわる八つの観点から1分の動画を制作して応募する。受賞作は消費者庁の教材などとして使われる予定という。

金融教育の動画のアイデアを考える中高生＝青楓館

まず同機構が、身近にあ

るお金の関わりを話し合うグループワークの形式で講義した。「保険」「適切」の単語を「相続」などの単語を列挙し、八つの観点のどれに当たるかを振り分け。その後、他のグループが挙げた単語も参考にしながら動画をつくっていった。

高校3年生の十河晴奈さ

ん(17)＝芦屋市は、親が3人の子どもに現金を渡し、自由に本を買わせる物語で動画を制作。中古の本をたくさん買う子や、新品を1冊買う子などを描き、お金の使い方への価値観が多様なことを示した。十河さんは「古本が安いのはなぜか、というところからグループで考えていった。イラ

ストを改善して、動画をよりよくしたい」と意気込みを語った。(有富晴貴)